

ミニグループディスカッション 2 では PCI のための IVUS 読影テクニックということで、僕たちのグループは板橋中央総合病院の園田信成先生にご指導いただきました。

まず、基礎編ということで、血球ノイズ、shadowing、reverberation、guide wire、NURD、air bubbles 等のアーチファクトや血栓像について、動画を見ながら解説していただきました。

続いて、応用編ということで、実際の症例の IVUS 画像を見ながら読影をしました。閉塞病変の原因等を IVUS 所見より、診断するという形で進行されました。

CAG を見るより先に IVUS 画像所見を読影して、症例を診断するのは非常に難しいものだと感じました。実際の臨床の場では、CAG 所見を頼りにし、ストラテジーをたてる上で必要な所見だけを IVUS に求めていたせいだと思います。いかに IVUS 画像をいいかげんに眺めていたかのあらわれでしょう。IVUS 画像をみて、きちんと 3 層構造を確認し、血栓、解離等の有無につきもっと細かく気を配るようにならなければいけないと痛切に感じました。今後は IVUS 画像を眺めるのではなく、CAG 所見に惑わされず、細部まで読影できるよう心がけていきます。いかに IVUS 読影能力が無いか思い知らされへこんだと同時に頑張らないといけないという気にさせてもらい非常に有意義な時間でした。